

高知県産業振興計画の推進によって実現を目指す本県産業の姿<林業分野> ~さらなる飛躍へのポイントに関する検討状況について~

4年後の目標

さらなる飛躍へのポイント

検討状況

10年後の目指す姿

木材・木製品製造出荷額等 190億円以上を目指す  
原木生産量 62万立方メートル以上を目指す

○森林の集約化を一層推進

○森林の集約化を一層推進

- ・森林境界に精通した地元住民等と連携し境界の明確化を推進 (集落活動センターの活用を含む)
- ・森林に関する情報の蓄積と活用のシステムづくり (GIS等)
- ・地元森林組合等の信頼の高い事業者と森林所有者をマッチングし、経営委任を推進 (集落活動センターの活用を含む)
- ・森林所有者に対する (施業等) 提案力の高い「森林施業プランナー」等を育成配置

○作業システムの改善による原木生産の効率化

○作業システムの改善による原木生産の効率化

- ・生産効率の高い事業者の事業規模拡大の取り組みを推進 (集約化業務と施業実行の主体を分離)
- ・効率的な作業システムの検証 (追求) と現場への普及の推進
- ・林業機械や作業道等の生産基盤整備を支援

○単板工場の誘致

○単板工場の誘致

- ・企業情報等の収集、優良企業へのアプローチを継続

○製材工場の効率化・高品質化を進め、競争力を強化

○製材工場の効率化・高品質化を進め、競争力を強化

- ・県内事業者による大型製材工場立ち上げへの支援 (計画立案～資金調達)
- ・事業継続を前提とする事業者の設備投資への支援
- ・品質の保証された製品の製造事業者の認証を推進 (JAS等)
- ・市場ニーズに合わせた高付加価値の製品を検討

○県外への流通・販売システムのさらなる強化

○県外の流通・販売システムのさらなる強化

- ・流通拠点の拡大、拠点を活用した商談・展示会活動の強化
- ・内航海運を活用した流通の検討
- ・国や他地域と連携した木材輸出の検討

○土佐材の知名度の向上による活発な取引

○土佐材の知名度の向上による活発な取引

- ・市場ニーズに合わせた新たな土佐材のブランド化の検討・開発
- ・J-VER、森林認証など環境面や健康・省エネなどの新たな付加価値を組み合わせた製品販売の検討
- ・【再掲】品質の保証された製品の製造事業者の認証を推進 (JAS等)

○木質バイオマスを低コストで大量に収集するシステムづくり

○木質バイオマスを低コストで大量に収集するシステムづくり

- ・低質材を効率的に回収するシステムの研究・開発
- ・低質材の搬出用機械の開発 (メーカー、事業者、研究機関等の連携)
- ・広葉樹、竹材のバイオマス利用拡大を検討

立木の資産価値  
30%アップ  
(H22年比)

担い手数  
1,720人/年

製材品の生産量  
35万5千m<sup>3</sup>

県産材製品の  
県外出荷量  
26万m<sup>3</sup>

戸建て住宅の  
木造率  
四国NO.1

木質バイオマス  
利用量  
38万トン  
(金額換算:23億円)

木材・木製品製造出荷額等 200億円以上を目指す  
原木生産量 65万立方メートル以上を目指す  
山で若者が働く、全国トップ3の国産材産地